

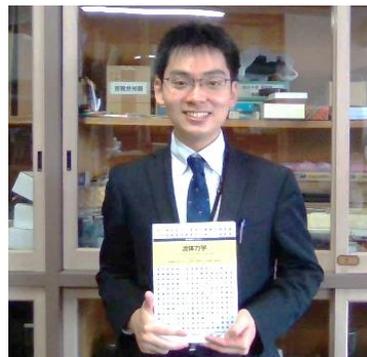
図書だより

My Favorite Books

今回は、坪根 虎汰 先生 です！

2023年11、12月号

三島高等学校 図書委員会



=簡単な自己紹介をお願いします=

103の副担任、理科担当の坪根虎汰です。出身は広島県なので、たまーに広島弁が出ているかと思います。四国中央市に引っ越してきて半年が過ぎ、生活にも慣れてきました。海沿いを通ると見える巨大な工場群が、機械好きとしてはときめきポイントですね。今後も地域の魅力をもっと発見していきたいと思います!!

さて、ここで私が所属していた部活について紹介しましょう。科学技術部(中学)、理数ゼミ物理班(高校)物理学研究会(大学)、いや～字面を見ると頭が痛くなりそうですね。好きなことだけを好きだけしてきた学生生活でした。縁あって今年度は自然科学部を持たせていただいています。科学に興味がある人、身の回りの「なぜ」を深く研究してみたい人、ロボットに興味がある人、自然科学部に入って世界を目指してみませんか。

=高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください=

小中学生のころは児童文学などを読んでいましたが、高校生になると文学作品をあまり読まなくなりました。代わりに課題研究のために論文や専門書を読むことが多くなりましたね。今でも覚えているのが森北出版の「乱流」という専門書です。顧問の先生が貸してくださったのですが、裏を見ると定価は12,000円(税抜き)驚きですね。しかし、もっと驚くことはその中身です。意味不明な単語や式が並んでいて、読んでも全然分からないんですよ。もう少し簡単な流体の教科書を自分で買って参考にしながら、結局全718ページを2年間ぐらいかけて読み進めました。読破に2年かかったということは $12,000 \div 730 = 16.4\dots$ 、何と1日あたり16円!!めちゃくちゃお得ですね。うまい棒と同じ値段で時間を潰せると考えたら専門書のコスパはすごいですよ(笑)

=みなさんに読んでほしい本を教えてください=

理科の教員ですし、平凡社の「暮らしの中のニセ科学」という本をお薦めしてみます。ニセ科学というのは科学的っぽいけど科学ではないものを指します。たとえば、「特異的水素ラジカルイオンでウイルスを完全にプロテクト」どうですか、なんか科学っぽい感じがしますよね。こんな商品があったら買いたいと思いませんか。ニセ科学は科学的根拠が一切ないそれっぽい用語で、一般人の「健康・安全・美容」願望に上手く付け込んできます。コロナ禍で胡散臭い除菌・消毒商品などが社会に溢れたことは皆さんも記

憶に新しいのではないのでしょうか。水素水や、マイナスイオン、血液サラサラ法など聞いたことありませんか?そんな暮らしの中のニセ科学を、根拠をあげながらバツサリ切る一冊です。理科を勉強することの大切さも感じるできるので、理科が嫌いだという方も自分ごとだと思って、ぜひ読んでみてください。「学校に入り込むニセ科学」という新作もあるよ。

=三高生に一言! =

本を読むことのメリットの一つに、自分の世界の拡張があると思います。普段経験できないものや、自分が知らなかったものなど、本を通じて取り入れて自分の世界を広げることができます。ただ、それは漫画でもいいと個人的には思っています。本でなくても、アニメやドラマ、映画などでもいいでしょう。今度の休日は何かの作品に触れてみてはどうでしょうか。自分の世界が広がり、人生が豊かになるかもしれませんよ。

坪根先生、ありがとうございました!!



2年7組図書委員のおすすめ本紹介♪



『近畿地方のある場所について』 筆：背筋

背筋と名乗るライター的主人公は友人であり編集者である小沢と一緒に、オカルト雑誌をつくっていた。そして幾つかの不気味な怪談に、近畿地方のある場所がかかわっているのではないかという仮説を立てた二人は調査、考察を進めていく。しかし、ある日小沢は現地へ行くと言い残して失踪してしまうのだった。

最後にこの本には袋とじになっているページがあります。中には何が書かれているのか…。それは実際に読んで確かめてみてください。



2学期末・冬休みの図書館利用案内

12月15日(金)～20日(水) 13:20まで

12月21日(木)～28日(木) 補習後 14:00まで



暖かい部屋の中でじっくりと本を読み、新たな気持ちで新年を迎えましょう!

新着図書のお知らせ



『星を編む』 著者：風良 ゆう

第20回本屋大賞受賞作『汝、星のごとく』の続編

『汝、星のごとく』で語りきれなかった愛の物語

「春に翔ぶ」—瀬戸内の島で出会った榎と暁海。二人を支える教師・北原が秘めた過去。彼が病院で話しかけられた教え子の菜々が抱えていた問題とは？

「星を編む」—才能という名の星を輝かせるために、魂を燃やす編集者たちの物語。漫画原作者・作家となった榎を担当した編集者二人が繋いだもの。

「波を渡る」—花火のように煌めく時間を経て、愛の果てにも暁海の人生は続いていく。『汝、星のごとく』の先に描かれる、繋がる未来と新たな愛の形。



『あなたが誰かを殺した』 著者：東野 圭吾

閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。

愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。

残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。そこに現れたのは、長期休暇中の刑事・加賀恭一郎。

—私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。



『わたしに会いたい』 著者：西 加奈子

『くもをさがす』の西加奈子が贈る、8つのラブレター。

この本を読んだあと、あなたは、きっと、自分の体を愛おしいと思う。

「わたし」の体と生きづらさを見つめる珠玉の短編小説集。

コロナ禍以前の2019年より、自身の乳がん発覚から治療を行った22年にかけて発表された7編と書き下ろし1編を含む、全8編を収録。



『私たちの世代は』 著者：瀬尾 まいこ

『そして、バトンが渡された』『夜明けのすべて』の著者の書下ろし長編。

「明日が怖いものではなく楽しみになったのは、あの日からだよ」

今でもふと思う。あの数年はなんだったのだろうか。不自由で息苦しかった毎日。家で過ごすことが最善だとされていたあの期間。多くの人から当たり前にあるはずのものを奪っていったであろう時代。それでも、あの日々が連れてきてくれたもの、与えてくれたものが確かにあった—。



『椿ノ恋文』 著者：小川 糸

「いつか」ではなく、今、大切な人に伝えたい。

累計70万部のベストセラー、「ツバキ文具店」シリーズ最新作。

鎌倉と小高い山のふもとで、代書屋を営む鳩子。家事と育児に奮闘中の鳩子が、いよいよ代書屋を再開します。可愛かったQPちゃんに反抗期が訪れたり、亡き先代の秘めた恋が発覚したり、新しく引っ越してきたお隣さんとの関係に悩まされたり……。代書屋としても、母親としても、少し成長した鳩子に会いにぜひご来店ください。

★坪根先生おすすめ★



『学校に入り込むニセ科学』 著者：左巻 健男

『水からの伝言』、EM菌、ゲーム脳、親学、右脳型と左脳型、白砂糖有害論……。一見科学的な装いをしながら、実際には科学的な根拠はなく、教員や生徒の「善意」を利用して勢力拡大を目論むニセ科学。そのオカルトまがいの言説はいま、学校教育の土台を揺るがすところまで来ている——。ニセ科学の危険性に警鐘を鳴らし続けてきた第一人者が、学校に侵入する怪しげなニセ科学を一刀両断。

★眞木先生おすすめ★



『むかしむかしあるところに、死体があってもめでたしめでたし。』

著者：青柳 碧人

一世を風靡したといっても過言ではない、日本の昔ばなしをミステリーで読み解いた『むか死』シリーズの最新刊にして最終巻。あっと驚くミステリーのもとになった昔ばなしは「こぶとりじいさん」「耳なし芳一」「舌切り雀」「三年寝太郎」そして「金太郎」——いずれも趣向に富んだ、これまでの作品に勝るとも劣らない作品集。

<その他の新着図書>

- ・半暮時 /月村了衛
- ・ラウリ・クースクを探して /宮内悠介
- ・存在のすべてを /塩田武士
- ・科学の方法 /中谷宇吉郎
- ・女の子はどう生きるか /上野千鶴子
- ・ツククサナツコの一生 /益田ミリ